

# れんごう中越地協

第1097号2022.1.11  
連合中越地域協議会  
長岡市愛宕3-7-24  
TEL 0258-86-0111  
FAX 0258-86-0884  
発行人 矢島 良彦  
定価 1部10円  
購読料は会費に含む



## 連合中越地協S Jネット委員会第16回総会

### 活動方針と役員体制を確立

連合中越地協S Jネット委員会第16回総会(通算31回定期総会)が、12月9日(木)午後6時30分からアトリウム長岡で開催された。

総会は、鈴木副委員長が開会あいさつで、金山代議員(自治労)と重山代議員(U Aゼンセン)を議長に選出して進行した。

何をするにも制約が伴い、組合員の方にとつて不本意で見通しの立たない状況となった。S Jネット委員内でZ O Mを使って『自己紹介や仕事内容を話し合おう』と話し合ってきた。しかし、すぐにコロナ禍によってとれないメンバーを感じた。今後の活動への反映にもなる。農園活動を2年間進めてきた中で、普段と違う雰囲気、土に交わることも、何も言わなくても協力し合えた。良い経験ができた。これからS Jネット活動は、皆さんの参加や組合員と繋がる活動にしたい」と述べた。

「1年間務めた。会社だけでなくS Jネットの活動ができた。農園作業では普段体験できない活動で良い経験になった」。栗林事務局次長(U Aゼンセン)は「2年前、組合活動では普段できない活動ができた。この経験を自分の組合活動に活かしていきたい」。佐藤委員(J E C連合)は「2年間務めた。コロナ禍で参加できなかった。農園作業は良い経験になった」と等々の感想が述べられた。



新役員体制は、鈴木副委員長(電力総連)が「コロナ禍感染拡大のタイミングで副委員長となった。ユニオンプワーアップセミナー以外に農園作業に従事。連合、S Jネットは横のつながりが大事であり、組織のパワーアップにつながることを感じた」。近藤副委員長(自治労)は「4年間副委員長を、年間S Jネット枠で幹事を務めた。最初は面倒なことが多かったが、楽しく思ってきた。機会があればワークショップ中級受検したい」。山田副委員長(J A M)は「1年間務めた。会社だけでなくS Jネットの活動ができた。農園作業では普段体験できない活動で良い経験になった」。栗林事務局次長(U Aゼンセン)は「2年前、組合活動では普段できない活動ができた。この経験を自分の組合活動に活かしていきたい」。佐藤委員(J E C連合)は「2年間務めた。コロナ禍で参加できなかった。農園作業は良い経験になった」と等々の感想が述べられた。

「1年間務めた。会社だけでなくS Jネットの活動ができた。農園作業では普段体験できない活動で良い経験になった」。栗林事務局次長(U Aゼンセン)は「2年前、組合活動では普段できない活動ができた。この経験を自分の組合活動に活かしていきたい」。佐藤委員(J E C連合)は「2年間務めた。コロナ禍で参加できなかった。農園作業は良い経験になった」と等々の感想が述べられた。

「1年間務めた。会社だけでなくS Jネットの活動ができた。農園作業では普段体験できない活動で良い経験になった」。栗林事務局次長(U Aゼンセン)は「2年前、組合活動では普段できない活動ができた。この経験を自分の組合活動に活かしていきたい」。佐藤委員(J E C連合)は「2年間務めた。コロナ禍で参加できなかった。農園作業は良い経験になった」と等々の感想が述べられた。



2022年新春の喜びを申し上げます。今年の干支は「寅」で、「壬寅」(みずのえ・とら)の年に当たります。「壬」の意味は「生まれる」という意味で、「寅」は「演」「延」が由来と言われ「人前に立つ」「延ばす・成長する」という意味を持つ。成長する、「新しく立ち上がる」「生まれたものが成長する」といった縁起の良い年であることを表している。影響により、新たな生活様式や働き方などたくさんの方々が

副議長 野田耕作  
あたご3 <No.37>  
しい形が生まれ、私たちが日常の定着化が進み今後ともっと進化するであろうと期待しています。その為の第一歩として「脱」を基本として、失敗を恐れずチャレンジすることを心掛けたと思います。2022年春闘及び参議院選挙と自分たちの目標達成に向け、新たな取り組みが必要不可欠となります。組合員全員で知恵を出し合って結果が出るよう推進していきたいと思っております。結びに、今年も明るく元気に取り組んでまいりたいと思っております。

サラリーマン川柳(鏡餅 自分の腹に みかんのせ) (お年玉 ママに内緒で パパに貸す) (ジャンボくじ 妻に隠れて 確認し) (来たらず 来なきや出さない 年賀状)

**連合中越地協第2回幹事会**  
日時 1月19日(水)18:30~  
場所 地協事務所  
議題 各専門部年間活動計画  
春季生活闘争関係  
当面の活動 他

サラリーマン川柳 (犬と寝る 幸せ思う 寝正月) (あれ安い これは特価で 支出増え) (風呂・メシと 遂に言ったよ 夢の中) (正月は 箱根と決めてる 入浴剤)

# あけましておめでとうございます

## 2022年 連合中越地協各支部 支部長挨拶 (その1)



見附支部  
支部長 坂爪 真也

新年、明けましておめでとうございます。

新型コロナウイルスの終息が見通せないなか、日頃から連合見附支部の活動にご理解とご協力を賜りありがとうございます。

昨年は新型コロナウイルスの影響でイベントなどの規模縮小などの対応をとってまいりました。労働運動が思うように進まないなかでも、人のつながりを重視し規模縮小という判断こそしましたが、イベントの中止などはしませんでした。

今年度も、人とのつながりを大切にし運動が思うように進まなくても、運動を止めずに着実に前進できるような運動展開をしていきたいと思っていますので組合員の皆様により一層のご理解ご協力をお願い致します。

最後に、組合員の皆様にとって最良の一年になることをご祈念し、念頭のあいさつとさせていただきます。



小千谷支部  
支部長 井浦 晃

新年明けましておめでとうございます。日頃より連合小千谷支部の活動にご理解とご協力を賜りありがとうございます。

昨年から続く感染症も落ち着いている状況ではありますが、未だに制限の有る生活や活動となっています。この様な状況でも、各単組、各組合員の皆様のご支援、ご協力を頂きながら、支部活動を進めて参ります。

最後になりますが、新しい年が皆様にとって、幸多き一年になる事をお祈り申し上げます。



北魚沼支部  
支部長 山本 英二

新年明けましておめでとうございます。

昨年11月に開催した支部総会で、これまで欠員状態だった3役がそろいました。たとえ今は労組に加入していませんが、地域で働く仲間として、お互いに尊敬しあい、助け合い、より良い社会にするための改革・変革と一緒に進めていくことが、地域で連合運動をすることなのだ、最近ようやく理解してきました。新たな支部役員体制で、地域に連合運動を広げられるように取り組んでいきます。

### 各支部総会特集

## 連合中越地協 各支部が総会を開く

### 新年度の活動を開始

#### 見附支部

第16回見附支部定期総会を11月19日に割烹太田屋にて開催しました。



昨年度同様に新型コロナウイルス感染症対策の為、代議員の定数を少なくそして席の間隔を広げた形で行い、また今年は選挙関係もある事から昨年と違い各級議員および立候補予定者から来賓として出席いただきました。

今総会ではこれまで支部長を務めていた火山氏が勇退され、新しく坂爪氏が新支部長となる役員体制と、2022年度支部運動方針、

予算及び支部規約改定等の議案について審議・承認されました。最後は坂爪新支部長による団結ガンバローにて総会を締めくくりました。



## フードバンクながおか ボランティア募集

フードバンクながおか「ボランティア募集」のお知らせ  
主な活動と活動時間は下記のとおりです。

- ◆フードドライブ活動
- ◆企業や個人からの寄付食品の引き取り
- ◆支援世帯や困っている方への食品のお渡し
- ◆フードバンク活動のPR (チラシ作製、SNS配信等)

■募集人数は4名程度 (性別・年齢 問いません)

■活動時間等

- ・週に2~3回 ・1回当たり2~4時間
- ・ガソリン代等経費は支給します

お問合せ先: mail: foodbank.nagaoka@gmail.com

電話: 090-2141-6119 (担当 山崎)

締切: 2022年2月13日迄

フードバンクながおかは長岡地区労働者福祉協議会構成団体